

備前市事務事業評価表

事業の概要		コード	01-04-02-09
事務事業名	非常備消防施設管理事業		
		根拠法令・要綱等	消防組織法
事業開始年度	昭和46年度から		
大項目 基本目標	安全で快適に暮らせるまちづくり	問合せ先	総務課
中項目 基本施策	安全で安心して暮らせるまちづくり	職・氏名	消防防災係長 大西武志
小項目 施策	消防・防災	電話	64-1809

事業の実施	
対象 (誰・何に対して)	消防団、地元住民
目的 (何のために)	消防団の消防器庫(詰所)等を維持、管理することにより、災害時での消防団や地元地域の活動拠点として、円滑な災害対応を図る。
行政活動 (どのような方法で)	消防器庫の維持管理
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	消防器庫1箇所あたりの維持管理費用

事業の実績						
活動実績	実施項目		単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
	消防器庫数		箇所	74	74	74
	ホース数		本	67	22	22
	直接事業費			2,480	1,564	2,502
	人件費		千円	2,420	2,355	646
	事業費計			4,900	3,919	3,148
	国県支出金					
	受益者負担		千円			
	一般財源			4,900	3,919	3,148
	必要人員		人	0.35	0.35	0.09
結果指標	結果指標名		単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
	消防器庫維持管理費		説明			
	結果指標量	箇所		74	74	74
	対前年比	%		-	100.0%	100.0%
	活動コスト	円		2,203,000	2,810,000	2,514,000
単位当たりコスト	円		29,770	37,973	33,973	
結果指標	ホース数		説明			
	結果指標量	本		67	22	22
	対前年比	%		-	32.8%	100.0%
	活動コスト	円		2,697,000	1,109,000	634,000
	単位当たりコスト	円		40,254	50,409	28,818

事業の成果			
成果指標名	消防器庫1箇所あたりの維持管理費用	式又は説明	消防器庫に係る経費÷箇所数
成果指標量	17年度	18年度	19年度
	29,770	37,973	33,973
対前年比		127.55%	89.47%
到達目標値	34,000	到達目標年度	毎年度

事業の目的、対象、内容を考えてながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成19年度事業)	
目的	<input checked="" type="checkbox"/> 開法令等で目的が定められており妥当である(法律・政省令)	妥当性評価<A~E>	B
	<input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化している	課題認識	
対象	<input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある		
	<input type="checkbox"/> 事業の目的を達成するためには、現在の行政活動以外に方法はない	消防器庫(詰所)は、消防団の活動拠点のみならず、地域の防災拠点として重要な施設である。適切な維持管理を実施することは妥当である。	
行政活動	<input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも事業の意図する成果を見直す必要はない		
	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請の強い事業である		
事業の意図する成果	<input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与しなければならない事業である		
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は大きい <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は克服できる範囲内である	効率性評価<A~E>	C
市民ニーズ	<input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしており、低減余地は大きい	課題認識	
	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、低減余地は小さい <input type="checkbox"/> サービスを低下させずにコストを低減することは困難 <input type="checkbox"/> 受益者負担額を見直す余地がある	消防器庫の電気代、水道代は基本料金に近い額で推移しており、毎月確認することにより、適切な維持管理を行っている。なお、人件費の減は業務量の実測による。	
市の関与	<input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない		
	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善に努めている <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	有効性評価<A~E>	
コスト	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている	課題認識	
	<input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input type="checkbox"/> 事業実施について、職員の意見・要望が反映されやすい		
効率性の評価	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである		
	<input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している		
職場	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上の見込みである		
	<input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	有効性の判断は困難である。	
目的達成度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している		
	<input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している		
有効性の評価	<input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している		
	<input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている		
市民参画度			

平成20年度の状況		説明
<input type="checkbox"/> 重点化している	<input type="checkbox"/> 休止している	
<input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合している	
<input type="checkbox"/> 見直し継続している	<input checked="" type="checkbox"/> 平成19年度で真止・完了	
<input type="checkbox"/> 事業を縮小している		
目標値	結果指標量 74	結果指標量 22
成果指標量	34,000	

総合評価		評価区分 <A~E>	C	
消防器庫が74箇所あり、団員数や活動実態に合わせて、統廃合を検討する必要があるが、地域での防災活動拠点としての機能もあり、最低限の維持管理は必要である。				

平成21年度以降の方向性	
<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する)	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する
<input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する
<input type="checkbox"/> 平成20年度で廃止・完了	

平成21年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	効率のよい消防団の消防器庫の配置を検討すべき	平成20年度以降	消防器庫の維持管理経費の削減